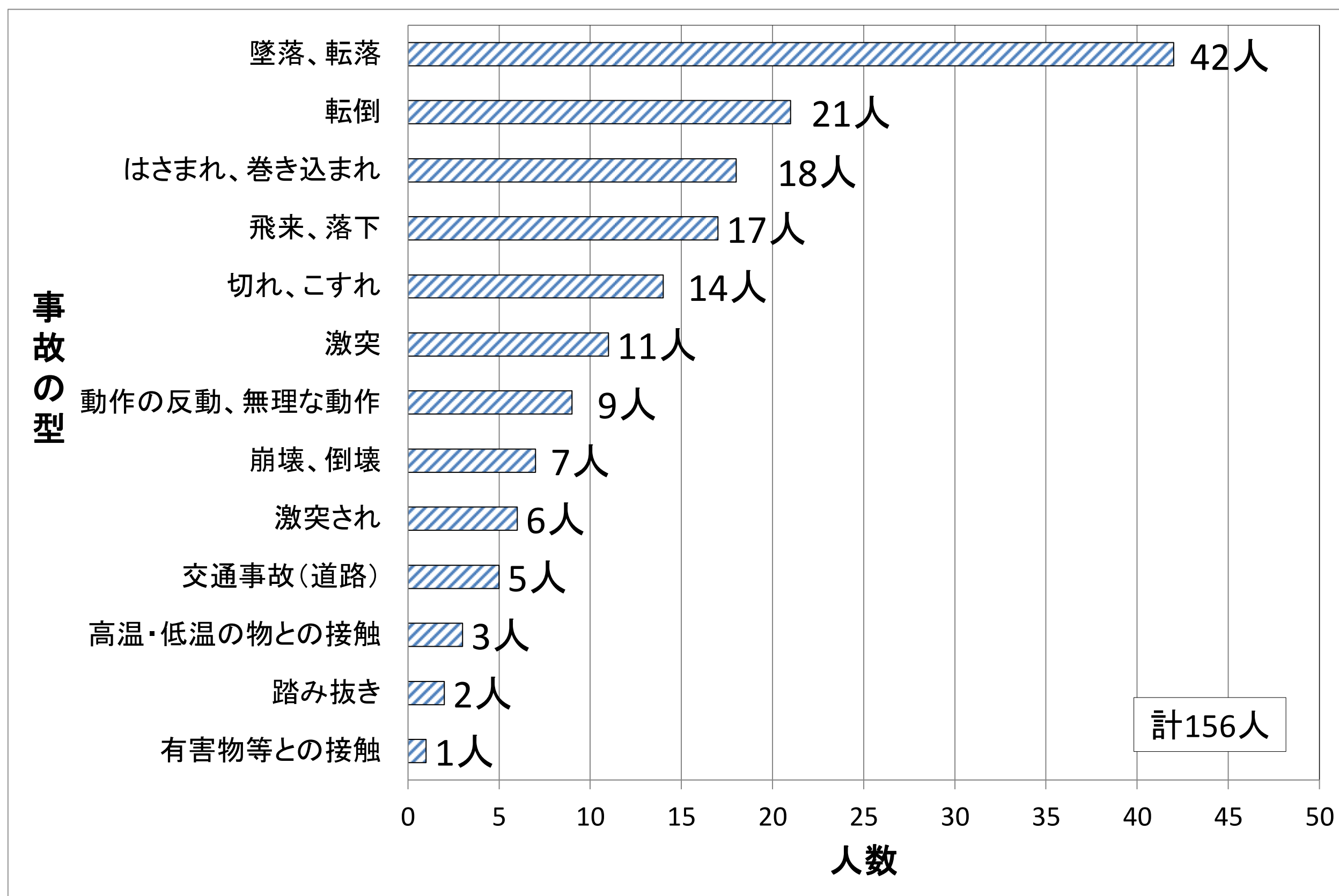


- ①平成28年の建設業の労働災害は432件と対平成27年比60件、16.1%増加、平成25年以降の減少傾向が増加に転じました。また、対平成24年比では-95件、-18.0%ではありますが、対平成22年比では+161件、+59.4%と震災前の水準を上回っています。
- ②平成28年の建設業の月ごとの発生状況は、1月37人、2月51人、3月35人、4月31人、5月30人、6月40人、7月40人、8月36人、9月39人、10月24人、11月34人、12月35人です。
- ③平成29年6月までの建設業の労働災害は156件と対前年同期比で38件、19.6%減少しています。平成28年に増加した土木工事業と木造家屋建築工事業で減少しています。
- ④平成29年6月までの建設業の労働災害156件のうち、事故の型別で最も多いのが墜落・転落が42件、27%、転倒が21件、13%、次いではさまれ・巻き込まれが18件、12%の順となっています。
- ⑤被災労働者の年齢では、最も多いのが60歳代が41人、26%、次いで40歳代、50歳代がそれぞれ30件、19%、20歳代が26件、17%の順となっています。
- ⑥死亡災害は、平成29年は1件(対前年同期比2件減)発生しています。この1件は土木工事業の現場で発生したものです。

# 建設業の労働災害の発生状況(平成29年1月～6月)

## 1. 災害の原因別

平成29年6月末現在



## 2. 年齢別

平成29年6月末現在

